

美術 (F i n e A r t s)		1年・半期・1単位・必修 5学科共通・平田 裕信
〔準学士課程(本科 1-5年) 学習教育目標 (1)〕	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕	〔JABEE 基準〕
〔講義の目的〕 当講座では従来の平面的表現(絵画・デザイン・イラストなど)に加えデジタルによる表現と共に多様な美的表現の可能性を学ぶ。 実習と映像講義により美術への関心と美意識の向上に努める。		
〔講義の概要〕 過去から現在までの美的表現について講義や映像により知り、絵具や色材などを使い表現技法を模索することで、美術についての関心と教養を身につける。		
〔履修上の留意点〕 作品やレポートの完成、提出期限と丁寧な作業を重視する。 期限を過ぎた場合は提出点のみとなる。授業内での作品完成を目指す、自宅学習での完成を求めることもある。 また、期限内に未完作品の提出を求めることもある。		
〔到達目標〕 与えられた課題についての理解と表現の方法(発想力・表現力)を養い、丁寧な作業と作品の美的調和への取り組みを目指す。 よって、美術についての関心と美的感性の向上を目指す。		
〔評価方法〕 作品やレポート・ノートの期限内提出(40%)を基本に、課題達成の評価をA+(100点)、A、a、B+、B(60点)の5段階で評価(40%)する。授業への取り組み・小テスト(20%) (原則として3年次以降での不可評価の解消は許可しない)		
〔教科書〕 〔補助教材・参考書〕 絵具などの画材は、個人負担を原則とする。教科書は使わない。 画用紙などは共同購入する。		
〔関連科目〕		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	授業内容の説明 個々の表現力を見る	* 美術について説明 * 画材について説明 * 想像描写幾何形態	
第2週	美術における空間表現 課題1	* 鉛筆デッサン * 立方体について * 鉛筆について	
第3週	同上	* 講義・映像による歴史的空間表現の紹介 * 空間表現法—東洋と西洋の差異 * 遠近透視図法の表現の試み	
第4週	同上	* 実習作業後に提出	
第5週	色彩による表現法 課題2	* 東洋的空間表現と西洋的空間表現学び、新しい自己表現を追求する * 前課題の講評	
第6週	同上	* 色彩学の基礎学習(色彩構成)とその活用 * 色の調査	
第7週	同上	* 課題実習作業	
第8週	同上	* 実習作業後に提出	
第9週	イメージ(image)を形に 課題3	* だまし絵・迷路・空想空間・想像空間を図像表現する。 デジタル表現のための説明	
第10週	同上	* デジタル表現による実習	
第11週	同上	同上	
第12週	同上	完成後データとプリント提出	
第13週	自己表現 課題4	<選択課題> ・写生(写実表現)・マンガ・イラスト表現・コラージュ表現, その他	
第14週	同上	* 自分の好みのテーマ課題を選び作品にする。 (各個人の多様な表現意欲を育てるための表現素材や資料	
第15週	同上	の提供に便宜をはかる)	

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)